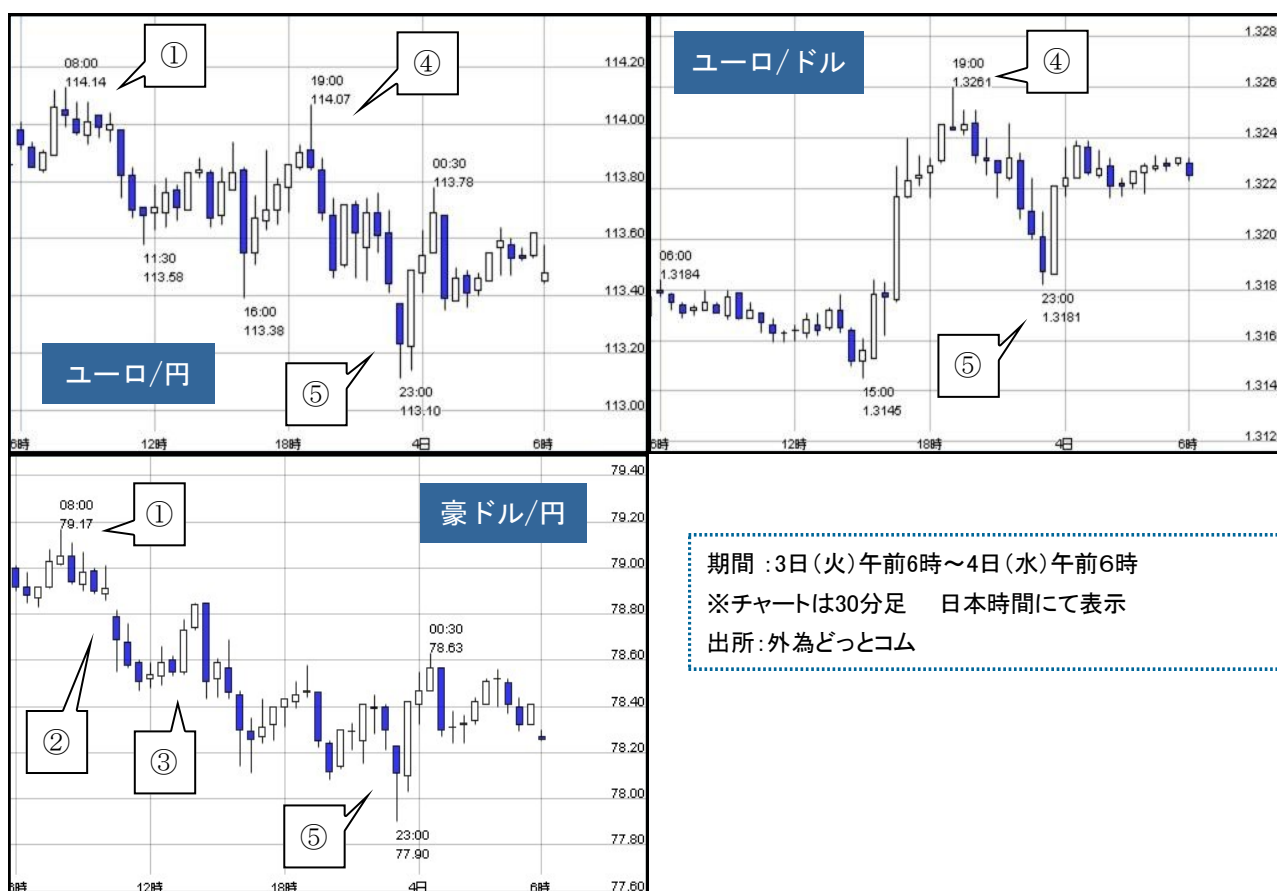


8月4日(水曜日)

ユーロ/円
ユーロ/ドル
豪ドル/円

米国の金融緩和期待によりユーロ上昇

3日(火)の主な推移



期間 : 3日(火)午前6時~4日(水)午前6時
※チャートは30分足 日本時間にて表示
出所 : 外為どっとコム

- ① 前日の米国市場での株高の流れを引き継ぎ、日経平均株価の上昇期待によりクロス円は買われ、ユーロ/円は114.14円、豪ドル/円は79.17円までそれぞれ上昇した。
- ② 豪6月小売売上高は前月比+0.2%と事前予想(+0.4%)を下回り、また豪6月住宅建設許可件数も前月比-3.3%とこちらも事前予想(+2.0%)を下回る結果となり、豪ドル/円はその後40銭ほど値を下げた。
- ③ 豪準備銀行(RBA)は政策金利を4.50%に据え置くことを決定した。その後の声明では一部で予想されていた程に弱気な見通しとはならなかったことで、政策金利発表前の豪州の経済指標の悪化で売られた豪ドル/円は買い戻された。
- ④ 米2年債の長期金利が過去最低水準まで下落すると、米国の追加金融緩和の観測の浮上によりドルが売られ、ユーロ/ドルは5月以来となる1.3261ドルまで上昇。ユーロ/円も114.07円まで反発した。
- ⑤ 米6月中古住宅販売保留が予想を下回り、市場ではリスクを回避する動きが強まると、ユーロ/ドルは1.3181ドル、ユーロ/円は113.10円、豪ドル/円は77.90円までそれぞれ下げる場面が見られた。

ユーロ/ドル、ユーロ/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから、円売り、高金利通貨買いの流れ(ユーロ/円上昇要因)
- ・米低金利政策長期化観測に伴う米長期金利の低下(ユーロ/ドル上昇要因)
- ・南欧諸国のソブリン・リスクの緩和(ユーロ上昇要因)
- ・米景気回復に伴う米長期金利の上昇(ユーロ/ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(ユーロ/円下落要因)
- ・南欧諸国のソブリン・リスク(ユーロ下落要因)

豪ドル/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから高金利通貨買いの流れ(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪利上げ観測に伴う日豪金利差の拡大(豪ドル/円上昇要因)
- ・株価、資源価格の上昇(豪ドル/円上昇要因)
- ・日銀による追加金融緩和観測(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪州中銀による利上げ観測の後退(豪ドル下落要因)
- ・株価、資源価格の下落(豪ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(豪ドル下落要因)

本日の見通し

本日の予想レンジ

ユーロ/ドル: 1.3160-1.3280ドル
ユーロ/円 : 112.70-114.20円

本日の予想レンジ

豪ドル/円: 77.70-79.20円

昨日は米国での金融緩和観測により、ドルが売られてユーロが買われた。本日もこれを材料にドルが売られ、ユーロは買われやすい展開が見込まれる。

また米国では雇用統計の前哨戦と目される7月ADP全国雇用者数を始め、重要指標の発表が控えており、米株を始め主要国の株価の動きには注意したい。

もし株高となる場面では、リスクに対し積極的となるムードからユーロが堅調推移となることが見込まれるが、一方で株価が下げ幅を拡大する場面ではユーロも売られることも予想される。(川畑)

本日は豪6月貿易収支の発表が予定されている。豪準備銀行(RBA)が政策金利を発表した直後ではあるが、豪州経済の好調さを確認する上で、注目を集めそうである。仮に輸出の拡大が続いていることが確認されれば、短期的には豪ドル/円の買いへとつながることも予想される。

そのほか米国では7月ADP全国雇用者数など重要指標の発表が相次ぐことから、6日に予定されている米7月雇用統計を意識した動きに注目したい。(川畑)

本日及び翌朝の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
8/4(水)	10:30	○	(豪) 6月貿易収支	+16.45 億AUD	+18.00 億AUD
			(豪) 第2四半期住宅価格指数 [前期比]	+4.8%	+2.0%
	18:00		(ユーロ圏) 6月小売売上高 [前月比]	+0.2%	± 0.0%
			(ユーロ圏) 6月小売売上高 [前年比]	+0.3%	+0.1%
	21:15	○	(米) 7月ADP全国雇用者数	+1.3万人	+3.0万人
23:00	○	(米) 7月ISM非製造業景況指数	53.8	53.0	
8/5(木)	07:45		(NZ) 第2四半期失業率	6.0%	—

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。